

西南大学

2007年攻读硕士学位研究生入学考试试题

学科专业：外国语言学及应用语言学

研究方向：日语教育理论

考试科目：综合日语

编号：618

(答题请一律做在答题纸上，否则答题无效。)

一、次の文の_____をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方を書きなさい。

(0.5×20=10点)

1、突如ビルが崩壊し、多くの人々が犠牲となった。

① ② ③

2、激しい意見の応酬が与野党の討論で繰り広げられている。

④ ⑤ ⑥

3、議論を避けていると些細な事柄で誤解が生じる。

⑦ ⑧

4、国境付近では、地元の人々が懸命に対抗勢力を阻止している。

⑨ ⑩ ⑪

5、誤った情報が氾濫し、使用者が困惑していることが、最近のニュースから垣間見られる。

⑫ ⑬ ⑭

6、常に新しいことに挑み、妥協しない人生を模索している。

⑮ ⑯ ⑰

7、鈴木さんは父親譲りの視野の広さと巧妙さを合わせ持っている。

⑱ ⑲ ⑳

二、次の文の_____をつけた言葉はひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く

言葉を①②③④から選べ。(1×10=10点)

1、銀行は独自の基準で融資を行っている。

①有事 ②勇姿 ③油脂 ④中止

2、日本は21世紀に高齢化社会を迎える。

①恒例 ②号令 ③汚泥 ④豪邸

3、友人と連絡が絶えてしまった。

①備えて ②供えて ③耐えて ④震えて

4、将来の抱負をひとりひとり話

- b 神話の知、近代科学の知
- ② a 自然科学の知、確たる知、近代科学の知
b 神話の知、豊かな科学の知
- ③ a 自然科学の知、豊かな科学の知、近代科学の知
b 確たる知、神話の知、
- ④ a 自然科学の知、近代科学の知
b 確たる知、神話の知、豊かな科学の知、
- ⑤ a 自然科学の知、豊かな科学の知、
b 確たる知、神話の知、近代科学の知
- ⑥ a 自然科学の知、確たる知
b 神話の知、豊かな科学の知、近代科学の知

問3 傍線部A「確たる知を持って生きている」とは、どういうことか、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。(5点)

- ① 固有の信仰を守ることによって、宇宙における自己の役割を果たしているということ。
- ② 自然科学を無視して、自らを中心とする宇宙観でしか行動しないということ。
- ③ 自分と自分を取り巻く宇宙との関係を科学的に説明するということ。
- ④ 自らが何よりもこの宇宙の中心であると信じて疑わない生き方をしているということ。
- ⑤ 自分という存在なしには宇宙はありえないと思い込んで、自己を賛美するということ。

問4 傍線部の「気品」とあるが、その気品は、何から生まれてくるのか、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。(5点)

- ① 自分たちが、宇宙全体の支えであり、その宇宙の中心であるという自負から。
- ② 自分たちは、宗教的生活を通じて世界に役立っているのだという確信から。
- ③ 自分たちが、科学で解明できないものまでもすべて説明できるという誇りから。
- ④ 自分たちは、宗教や儀式によって、環境と一体になっているという信仰から。
- ⑤ 自分たちが、宇宙全体を支配しており、その頂点に立っているという自信から。

問5 傍線部C「それを、自分をも入れ込んだ世界を、どうイメージするのかという、コスモロジーとして論じるとき、われわれは笑ってばかりは居られない。」とあるが、なぜ「笑ってばかりは居られない」のか、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。(6点)

反対がわの入り口近くに腰かけることができた。右には五十近いもんぺ姿の女がいた。左には少年工と思われる十七八歳の子どもがわたしの方を背にして、座席の端の袖板がないので、入り口の方へ真横を向いて腰掛けていた。その子どもの顔は入ってきた時、一寸見たが、眼をつぶり、口はだらしなく開けたまま、上体を前後に大きくゆすっていた。それはゆすっているのではなく、体が前に倒れる、それを起こす、また倒れる、それを繰り返しているのだ。居眠りしては連続的なのが不気味に感じられた。わたしは不自然でない程度に子どもとの間を空けていた。

.....

わたしは磯川ちか女を知ったのは、わたしが十二、三の頃だから今から三十余年昔のことになる。その頃ちか女は四十歳を少し越したくらいの年配であったが、当時若い女たちの間に流行し始めていた耳かくしという髪を結って、十六貫近くある肥満した体を鹿児島の本場から取り寄せた青味がかった大島の特殊な冷たい感触で包んでいた。青大島が一般に流行したのはそれからずっとあとのことだから、彼女あたりが関東で青大島を着用した草分けであったかもしれない。

.....

ことばを記号として理解する場合、談話分析中心的な役割をになう。なぜなら、言葉の記号体系は個人の生活ばかりか文化の生活においても、談話を通じた言葉使用により発展し、変貌するからである。使用の言語こそが談話であり、またその働きによって言語の恣意的な記号は、言語共同体の産物である意味をもつことになる（ハッサン (Hasan) 1985)。ことばの研究の他の領域と微妙に絡み合うものの、談話分析を一つの学問領域として、際立たせるものは、特定のあるいは単一の一貫した理論の記号体系ではなく、言語使用に意味、認知、場面、および文化的コンテクストから言語事象を記述あるいは説明し、それを通してわれわれの生活様式を再建築する言語的資源を確定しようとする点である。要するに、談話分析とは伝達の必要性に動機付けられた言語使用や、それを通してさまざまな行為や相互行為を行うものである。

.....

文章を構成する要素は、全体として言語表現の意図に沿ってそれぞれ前の要素に接続し意味をまとめながら次の要素に接続してゆくのであるが、このように言語表現の意図のもとに生ずる文章における内容上意味上の脈絡・筋道を「文脈」「コンテクスト」という。

文章を形づくる各部分相互が互いにどのような関係で結びついているかを考えることが文脈を考えるということであり、このような各部分相互の関係、文章を展開する内容上、意味上のつながりを文脈というのである。

十、次の中国語を日本語に訳しなさい。(10点)

- 1、如前所述，科学不能回避建立高度的概念，但科学家建立的所有的概念，并不一定全部都能反映现实。
- 2、语言和概念有助于以它为手段阐明复杂的现实，另一方面又有脱离现实，产生错误认识的危险。
- 3、在微暗的灯光下，面前放着一杯咖啡，一边听着低缓的音乐，一边交谈。在这样一种咖啡馆里，一进去坐上几个小时也不想动的客人，可以说大都是年轻人。
- 4、不论到多么理想的社会，也不可想象这个社会不需要通过分工、合作的组织形式，进行集体性工作。
- 5、日本人喜欢模仿，也很会模仿，所以这个节目最富日本情调——我看到也未必如此。

十一、「人間には言葉がなかったら」という題で文章をかきなさい。(15点)

「注意」

- ① 450字以上500以内の文章をまとめること。(句読点も一字とする。もし450字未満、また500字をオーバーした場合は減点になる)
- ② 常体を使って、文体を統一すること。

- ①豊富 ②暴風 ③方法 ④報復
- 5、不朽な名作にふれる。
- ①無様 ②復旧 ③普及 ④付言
- 6、先約があるので行けない。
- ①全訳 ②前約 ③煎薬 ④詮索
- 7、焦燥している顔つきになる。
- ①肖像 ②少壮 ③上奏 ④装束
- 8、西湖は我が国の勝地だ。
- ①常置 ②衆知 ③正直 ④招致
- 9、約束を履行する。
- ①旅行 ②利口 ③利己 ④陸行
- 10、好事門をいはず。
- ①小路 ②合資 ③格子 ④後嗣

三、次の文の_____にはどんな言葉を入れたらいいですか。①②③④から最も適当なものを一つ選べ。(1×10=10点)

1、_____財布の中にその記号を入れなさい。

- ①ちょっと ②ちょうど ③あいにく ④せっかく

2、前からこの醤油を_____使っています。

- ①たいへん ②たくさん ③ずいぶん ④ずっと

3、高いものは_____よい品とは言えない。

- ①必ず ②必ずしも ③きっと ④けっして

4、虫の声を聞いていると、_____寂しくなってくる。

- ①なんとなく ②なにげなく ③さりげなく ④なさけない

5、_____死ぬなら笑って死のう。

- ①つまり ②どうせ ③とにかく ④ようするに

6、頂上までまだ遠いですが、ここで_____休みましょう。

- ①わずか ②ひとすじ ③ひたすら ④ひとまず

7、いろいろ努力したが、_____落第した。

- ①つまり ②最後 ③結局 ④要する

ない。

- ①だいぶ ②わりあい ③案内 ④たぶん

9、たいていの人が_____見過ごしてしまっている行動をよく観察する。

- ①おごそかに ②かたくなに ③かろうじて ④なにげなく

10、明日は必ず勝つぞと_____。

- ①いとなむ ②いきごむ ③いためる ④いやしむ

四、次の文の_____にはどんな言葉を入れたらいいですか。①②③④から最も適切なものを一つ選べ。(1×10=10点)

1、今度の実験でこのような成功を見たのも、絶えざる努力の結果_____。

- ①とてもかわいそうだった ②やはり落ち込んでいた
③にはほかならない ④でなくてなんだろう

2、テトロンにはテトロンなりのよさがありますが、木綿の保温性には_____。

- ①かたくない ②与えはずがない
③打たないもでもない ④およばない

3、彼は自分の意見を他人に強制する_____。

- ①きらいだ ②きらいである
③きらいがある ④きらいになる

4、前田さんの一日も早い回復を願って_____。

- ①あらたない ②やまない
③禁じ得ない ④極まりない

5、地震の被害地の悲惨な現状を知り、痛恨の_____。

- ①至りだ ②限りだ ③末だ ④極みだ

6、何ヵ月もそうじしていないから、机の上の本はほこり_____だ。

- ①ぐすめ ②めく ③まみれ ④っぼい

7、聴衆がもっと集まることが期待されたが、実際には200人_____だろう。

- ①といったところ ②にいたる ③といったらない ④から集まる

8、本田氏はとても責任感のある人だから、この仕事を任せられるのは彼_____。

- ①をおいでない ②の極みだ ③にかたくない ④でなくてなんだろう

9、よさない子どもといえども、罪を犯したからには罰を_____。

③与えるはずがない

④与えないくらいがある

10、伊藤さんは、上司に叱られて落ち込んでいると思いきや、_____。

①やはり落ち込んでいた

②とてもかわいそうだった

③楽しそうに笑っていた

④みんなでなぐさめてあげた

五、次の文の（ ）に最も適当なものを①②③の中から選べ。(1×5=5点)

1、言いたいことがあるなら、直接わたしに言えばいいものを。()。

①どうしてはっきり言ってしまったの

②はっきり言ってくれてありがとう

③陰にかくれて言うなんて

2、今のわたしの成績ではどうがんばっても、A大学の合格は無理だ。()。

①B大学に行かずにはおかない

②せいぜいB大学というところだろう

③B大学に行かないものでもない

3、景気が低迷期に入ってからというもの、中小企業の倒産や大会社の人員整理で、()。

①多くの人たちが職を失うにはあたらなかった

②多くの人たちが職を失うまでもなかった

③多くの人たちが職を失うことを余儀なくされた

4、会社の待遇改善を訴えるべし()。

①彼は相変わらず遅刻してきた

②彼は仲間とともに立ち上がった

③彼はいままでどおり一生懸命働いた

5、自分の夢を実現させんがため()。

①彼は毎日寂しく暮らしている

②彼は新しく出発しようとしている

③彼は毎晩友達と飲み歩いた

六、次の文章の括弧に当てはまるものを後の選択肢群から選べ。(1×8=8点)

文明開化は文化の西欧化をも意味し、日本の文学もまた西欧の作品と肩を並べられるものをめざそうという機運が高まり、江戸戯作の雰囲気を残しながらもさまざまな運動が展開されてた。(1) など翻訳も盛んに行われたり、福沢諭吉が (2) などを書いて民衆の啓蒙

においてであり、その(4)を継承した(5)が示した言文一致運動であった。その影響は(6)が率いる(7)の擬古典主義などにも及び、明治三十年代の(8)に受け継がれていった。

- ①尾崎紅葉 ②自然主義 ③浅香社 ④花柳春話 ⑤二葉亭四迷 ⑥幸田露伴
⑦浪漫主義 ⑧文明論の概略 ⑨硯友社 ⑩小説神髓 ⑪写実主義 ⑫雪中梅

七、日本語の漢詩の訓読み方で、次の漢詩を日本語に順序に書き直しなさい。(10点)

恨	感	城	国	
レ ミ テ ハ	レ ジ テ ハ			
別	時	春	破	春
ヲ	ニシ キ	ニ テ	レ テ	
鳥	花	草	山	望
ニ モ	ニ モ			
驚	濺	木	河	
レ カ ス	レ ギ			
心	涙	深	在	杜
ヲ	ヲ	シ	リ	甫

八、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間がこの世に生きてゆくためには、いろいろなことをしなくてはならない。自分を取り巻く環境の中で、うまく生きてゆくためには、環境について多くのことを知り、その仕組みを知らねばならない。このために、(1) 自然科学の知が大きい役割を果たす。自然科学の知を得るために、人間は自分を対象から切り離して、客体を観察し、そこに多くの知識を得た。太陽を観察して、それが灼熱の球体であり、われわれの住んでいる地球を自転しつつ、その周りをまわっていることを知った。このような知識により、われわれは太陽の運行を説明できる。

このような自然科学の知は、「自分」を環境から切り離して得たものであるから、誰に対しても(ア) 普遍的に通用する点で、大きい強みをもっている。自然科学の知どこでも通用する。しかし、ここで一旦切り離れた自分を、全体の中に入れ、自分という存在とのかかわりで考え

自分は何のために生きているのか、などと考え始めるとき、自然科学の知は役に立たない。それは、出発の最初から、自分を抜きにして得たものなのだから、当然のことである。太陽の動きや、はたらきは、自分と無関係に説明できる。しかし、他ならぬ自分という存在と、太陽とは、どうかかるか。

太陽と自分とのかかわりについて、(2) A 確たる知を持って生きている人たちについて、ユング (注1) は彼の自伝のなかで述べている (『ユング自伝Ⅱ』)。ユングが旅をしてプエブロ・インディアン (注2) を訪ねて行った時のことである。インディアンたちは、彼らの宗教的儀式や祈りによって、太陽が天空を運行するのを助けているというのである。「われわれは世界の屋根に住んでいる人間なのだ。われわれは太陽の息子たち。そしてわれらの宗教によって、われわれは毎日、われらに父が天空を横切る手伝いをしている。それはわれわれのためばかりでなく、全世界のためなんだ」とインディアンの一人は語った。かれらは全世界のため、太陽の息子としての勤めを果たしていると確信している。これに対して、ユングはつぎのように『自伝』の中で述べている。

「その時、わたしは一人一人のインディアンにみられる、静かなたたずまいと『気品』のようなものがなにに由来するのかが分かった。それは太陽の息子ということから生じてくる。彼の生活が宇宙論的意味を帯びているのは、彼が父なる太陽の、つまり生命全体の保護者の、日ごとの出没を助けているからである。」

インディアンたちは、かれらの「(3) 神話の知」を生きることによって、ユングが羨望を禁じ得ない「B 気品」をもって生きている。これに対して、近代人は何とせかせかと生きていることか。近代人は(4) 豊かな科学の知と、極めて貧困な精神とをもって生きている。ここで、インディアンたちが彼らの神話の知を、太陽の運行にかかわる「説明」として提出する時、われわれはその(イ) 幼さを笑いものにすることができる。しかし、C それを、自分をも入れ込んだ世界を、どうイメージするのかという、コスモロジー (注3) として論じるとき、われわれは笑ってばかりは居られない。

自然科学の知があまりに有効なので、近代人は誤って、コスモロジーをさえ(5) 近代科学の知のみに頼ろうとする愚を犯してしまったのではなかろうか。自然科学の知をそのまま自分に「適用」してコスモロジーを作るなら、自分の(ウ) ヒ小さ、というよりは存在価値の無さに気落ちさせられるであろう。自分がいったい何をしたのか「計量可能」なものによって測定してみる。相当なことをしたと思う人でも、宇宙の広さに比べると無に等しいことを知

このあたりのことにうすうす気づいてくると、自分の存在価値を見出すために、安易な「神話」でもつくり出すより仕方がなくなって、「若いときには」自分はどうした、こうした、というような安易な「神話」を語って、近所迷惑なことをする。あるいは、宗教家という人たちも、コスモロジーについて語るよりは、安易な道学者になってしまう。つまり、「よいこと」を、これほどたくさんしている、というくらいのことを誇りとしないと、自分の存在価値を示せないのである。

古来からある神話を、事象の「説明」であると考え、未開の時代の自然科学のように誤解したため、神話や昔話などの価値を近代人はまったく否定してしまった。確かに自然科学によって、自然をある程度支配できるようになったが、それと同じ方法で、自分と世界とのかかわりを見ようとしたため、近代人はユングも指(エ) テキするように、貧しい生き方、セカセカした生き方をせざるを得なくなったのである。

もちろん、だからと言ってわれわれはすぐに、プエブロ・インディアンのコスモロジーをそのままいただくことはできない。われわれは既に多くのことを知りすぎている。われわれとしては、自分にふさわしいコスモロジーをつくりあげるべく各人が努力するより仕方がないのである。われわれは、エレンベルガー(注4)を表現を借りるなら、自分の無意識の神話産生機能の頼らねばならない。しかし、そのことをするための一助として、古来からある神話や昔話を「非科学的」「非合理的」ということで簡単に(オ)ハイ斥するのではなく、その本来の目的に沿った形で、その意義を見直して見る必要があるであろう。

(注) 1、ユング：スイスの精神医学者(1875~1961)。分析心理学の創始者。

2、プエブロ・インディアン：北アメリカ南西部に居住し、定着農耕を営んできた先住民の総称。

3、コスモロジー：宇宙論。

4、エレンベルガー：スイスの精神医学者(1905年生まれ)。『無意識の発見』の著がある。

問1 傍線部(ア)～(オ)は熟語の一部であるが、これにあたる漢字を含むものを、次の各群の

①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。(2×5=10点)

(ア) フ遍的

① 事実とよくフ合している。

② それはフ朽の名作である。

- ④ 税金のフ担を軽くする。
- ⑤ 事件にフ随して問題が起こる。

(イ) 幼チ

- ① 生涯のチ己に出会う。
- ② 世界大会を誘チする。
- ③ 会議によくチ刻する。
- ④ 川にチ魚を放流する。
- ⑤ 厚顔無チと責められた。

(ウ) ヒ小

- ① ヒ境への旅を企画する。
- ② 罪状をヒ認する。
- ③ ヒ凡な才能の持主である。
- ④ ヒ近な例を挙げて説明する。
- ⑤ 安全な場所へヒ難する

(エ) 指テキ

- ① あの二人は好テキ手だ。
- ② 汚職をテキ発する。
- ③ 快テキな生活が約束される。
- ④ 内容を端テキに説明する。
- ⑤ 窓ガラスに水テキがつく。

(オ) ハイ斥

- ① 三回戦でハイ退する。
- ② 核兵器のハイ絶を訴える。
- ③ ハイ気ガスが空気を汚す。
- ④ それはハイ信行為である。
- ⑤ 細かなハイ慮に欠ける。

問2 波線部 (1) ~ (5) に用いられている「知」を、その内容によって a・b 二つのグループに分けるとすると、どのように分けたらよいか。その組み合わせとして最も適当なものを、次の①~⑥のうちから一つ選べ。(5点)

から。

- ② 「自然科学の知」非科学性が露呈し、「神話の知」の科学性が際立つことになるから。
- ③ 「自然科学の知」の万能性が崩壊し、「神話の知」神秘性が新たな価値基準になるから。
- ④ 「自然科学の知」の限界が意識され、「神話の知」の存在意義を再確認する必要があるから。
- ⑤ 「自然科学の知」に依存する現代社会を否定し、「神話の知」を母胎とした前近代社会を肯定することになるから。

問6 本文で述べられている筆者の主張に最もよく合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。(6点)

- ① 自然かがくの知は、人類に大きな貢献を果たしたが、その限界も見えはじめている。われわれは科学への依存を断念し、めいめいがその自然観を確立し、古代へと回帰しながら神話の知を再発見すべきである。
- ② 人間存在の証を求める神話の知は、自然を客体化して発達した自然科学の知によって裏付けられてきた。これからはその客観性を一層深め、それを生命の意義の解明に生かす必要がある。
- ③ 人間存在の根源は、自然科学の方法だけでは把握しきれない。われわれは、神話や昔話に込められた人間の尊厳や価値についてあらためて考察し、めいめいの世界観を創造しなければならない。
- ④ 近代の自然科学は、われわれに多くの恩恵と弊害をもたらした。その弊害を回避するために、古代の神話や昔話の世界にもどって、生命や宇宙の原初的な意味を探求しなければならない。
- ⑤ 科学がいかに発達しても、広大無辺な宇宙を解明しつくすことはできない。その限界を打破するのはわれわれの生の証としての神話の知であり、それを解明してわれわれははじめて永遠性を獲得することができる。

九、次の日本語を中国語に訳しなさい。(25点)

東京駅の屋根のなくなった歩廊の立っていると、風はなかったが、冷え冷えとし、着て来た一重外套で丁度よかった。連れの二人は先に来た上野まわりに乗り、あとは一人、品川まわりを待った。

薄く曇りのした空から灰色の月が日本橋側の焼跡をぼんやり照らしていた。月は十日ぐらいか、低く、それに何故か近く見えた。八時半ごろだが人が少なく、広い歩廊が一層広く感じられた。